

第43回 Cafe プレイエル&ギャラリーやましろ定例コンサート

音の葉 言の葉 をあなたに



# 武藤哲也リコーダーコンサート

リコーダー： 5種類リコーダーによるソロ合奏の世界  
朗 読： いのちを伝える ことばの世界

2014年2月23日(日)

午後2時開演

Cafe プレイエル 喫茶ホール

3,000円 (35名様限定)

☆申込み 香りの紅茶とお菓子付

TEL 0263-92-8158



## 《プロフィール》

むとう てつや

武藤哲也 (リコーダー)

長野県茅野市出身 茅野市在住  
諏訪清陵高校 千葉大学理学部数学科卒  
大学在学中にバッハの無伴奏チェロ組曲をリコーダーで  
全曲演奏及び録音  
2006年より演奏再開  
リコーダー:木村睦幸、 ヴィオラ・ダ・ガンバ：  
平尾雅子、 チェンバロ：上尾直毅の各氏に古楽  
アンサンブルのレッスン受講  
013年にCD20枚発売。専用サイトにて  
演奏を公開中 <http://paparlin.yas.mu/>



おかの ぶどう

岡埜葡萄 (朗読)

長野県諏訪市出身、茅野市在住。  
諏訪二葉高校、東京女子大学卒  
高校時代より朗読、ナレーションを始める  
2000年、故 草薙幸二郎氏演出による朗読劇に感銘を受け  
同氏に学ぶ  
現在 ハヶ岳山麓を中心に、朗読・ナレーションを手掛ける。

## 使用楽器

ソプラノリコーダーから  
コントラバスリコーダー  
5種類のリコーダー



## program

むとう てつや  
リコーダー演奏 武藤哲也

～懐かしい名曲と絵本「ピアニストの兵隊さん」  
に登場する曲～

- ・ 交響曲第6番「田園」楽章 (ベートーベン)
- ・ ノクターン (ショパン)
- ・ グリーンスリーブズ (イギリス民謡)
- ・ ロンドンデリー・エア (アイルランド民謡)
- ・ 谷間の灯 (アメリカ民謡)
- ・ 荒城の月・早春賦・さくらさくら 他

おかの ぶどう

朗 読 岡埜葡萄

- ・ 雲つくりの話 (岡埜葡萄 作)
- ・ ピアニストの兵隊さん (古畑博子 作)

From this...  
storie of Hamblett, qua...  
I was translated. I ha... tently str...

第43回 Cafe プレイエル&ギャラリーやましろ 定例コンサート

2014年2月23日(日) 14:00開演

## 武藤 哲也 リコーダー・コンサート

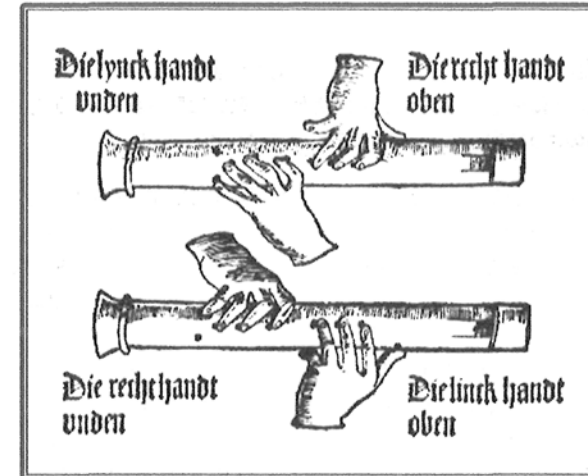
～ 音の葉 言の葉 をあなたに ～

### 武藤 哲也(リコーダー)

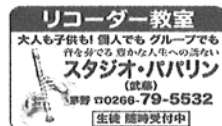
茅野市出身、茅野市在住。諏訪清陵高校、千葉大学理学部数学科卒。  
大学在学中にバッハの無伴奏チェロ組曲をリコーダーで全曲演奏及び録音。  
2006年より演奏再開。  
リコーダー:本村睦幸、ヴィオラ・ダ・ガンバ:平尾雅子、チェンバロ:上尾直毅の  
各氏に、古楽アンサンブルレッスン受講。  
2013年CDリリース。  
専用サイトにて演奏を公開中。<http://papalin.yas.mu/>  
長野県内外にて演奏活動のほか、リコーダー教室主催。  
長野リコーダー倶楽部ほか講師。

### 岡埜 葡萄(朗読・ナレーション)

諏訪市出身、茅野市在住。諏訪二葉高校、東京女子大学卒。  
高校時代より朗読、ナレーションを始める。  
2000年、故草薙幸二郎氏演出による朗読劇に感銘を受け、同氏に学ぶ。  
八ヶ岳周辺において朗読、ナレーションを手掛ける。



松本エリアでリコーダー・グループや個人のレッスンを致します。お問合せは下記まで。



スタジオ・パパリン (Studio-Papalin)  
〒391-0011 長野県茅野市玉川11400-75  
電話・Fax 0266-79-5532  
<http://studio-papalin.com/>  
[papalin@studio-papalin.com](mailto:papalin@studio-papalin.com)

主催 Cafeプレイエル&ギャラリーやましろ  
松本市波田 3058-5 Tel:0263-92-8158

～ 第1部 ～

トランペット吹きの日

(ルロイ・アンダーソン)

昨年11月にNHK長野の生番組に出演して以来、演奏会のオープニング曲として定着しました。3本のトランペットが高らかに鳴り響く陽気なこの曲は、リコーダーにもピッタリです。

<6重奏:ソプラノ演奏>

グリーンスリーブス

(イングランド民謡)

16世紀イギリスで誕生したといわれるこの曲は、その後口頭伝承で伝えられ、17世紀には、イングランド地方に住むイギリス人の誰もが知っている曲となったようです。

<6重奏:ソプラノ演奏>

ロンドンデリー・エア(ダニー・ボーイ)

(アイルランド民謡)

おなじみのアイルランド民謡ですが、イギリス領北アイルランドでは事実上の国歌です。今日は、皆さまのご協力を頂戴しながら、お洒落なアレンジでお届けします。

<4重奏:ソプラノ演奏>

交響曲第6番「田園」より

(ベートーヴェン)

交響曲をリコーダーで演奏できるのか？ そんな疑問に挑戦します。普段でしたら最高音のパートを生で演奏するのですが、今日は上から2番目のパートをテナーで演奏します。

<5重奏:テナー演奏>

朗読『雲つくりの話』

(岡埜 葡萄 作)

黄昏どきの空に漂う雲を見ていると、なぜか懐かしい思いに駆られることがあります。遠い昔の思い出のような物語は、そんな気持ちの中から生まれました。

【前奏曲】 セイキロス墓碑銘の歌

(セイキロス:古代ギリシア人)

西洋の音楽の遠い昔とは、いったい何処まで遡れるのか？ 完全な形で現存するもっとも古い楽譜は、紀元前1, 2世紀の墓碑銘に刻まれたこの歌です。(ソロ:グレートバス演奏)

<ソロ:グレートバス演奏>

<p> <math display="block">C \bar{Z} \bar{Z} \underline{KIZ} \bar{I} \bar{K} I \dot{Z} \dot{I} K O \bar{C} O \bar{\Phi}</math> <math display="block">\text{Ὁ σον ζῆς, φαί νου, μη δέν ὄλ ως σύ λυ ποῦ.</math> <math display="block">C \underline{KZ} \dot{I} \underline{K} \dot{I} K \bar{C} O \bar{\Phi} C K O I Z \bar{K} C \bar{C} X \bar{J}</math> <math display="block">\mu\acute{\rho}\omicron\varsigma \acute{o}\lambda \dot{\iota}\gamma\omicron\nu \acute{\epsilon} \sigma\tau\acute{\iota}\tau\omicron \zeta\eta\nu, \tau\acute{o} \tau\acute{\epsilon} \lambda\omicron\varsigma \acute{o} \chi\rho\acute{o}\nu\omicron\varsigma \acute{\alpha}\pi\alpha\iota \tau\acute{\epsilon}\dot{\iota}.</math> </p>
---

墓碑銘に刻まれた楽譜 (歌詞・音の高さ・長さが表記されている)

【後奏曲】 かなしみ

(バルトーク:子供のために より)

この曲に漂う郷愁や懐かしさが、雲つくりたちの物語に相応しいと思います。バルトークは、コダーイと共に音楽幼児教育を確立した人でもあり、教育にはリコーダーも使いました。

<5重奏:グレートバス演奏>

～ 第2部 ～

朗読『ピアニストの兵隊さん』

(古畑 博子 作)

カフェ・プレイエルのオーナーである古畑博子さんのお母様の体験をもとに、博子さんが書き上げた物語です。物語の途中からの朗読となりますので、前半のあらすじを紹介致します。

昭和19年4月、新任教師として絢子(あやこ)が赴任したのは、平岡国民学校、現在の中野市立平岡小学校でした。日本の勝利を信じて、苦難に耐えた教師と生徒たちが迎えた敗戦。学びの場であるはずの学校は、アメリカ軍の宿舎として接収されてしまいました。戦後間もない校舎に現れたのは…。

【前奏曲】 ノクターン 第2番

(ショパン)

ピアニストの兵隊さんが弾いてくれた、ピアノのための曲。ショパン独特のテンポの揺らぎや間、そして呼吸を、今日はリコーダーで表現してみたいと思います。

<6重奏:アルト演奏>

【間奏曲】 谷間の灯

(アメリカ民謡:西原武三 訳詞)

博子さんのたつてのリクエストです。メロディも歌詞も、情感に満ちた美しいこの曲を、物語の中で、リコーダー・アンサンブルにの伴奏で歌います。

<6重奏:アルト演奏・歌>

【後奏曲】 早春賦

(中田 章)

物語に登場するこの曲は、安曇野の春を歌っています。祈りと希望で幕をとじる『ピアニストの兵隊さん』に相応しいエンディングの曲ではないでしょうか。

<8重奏:ソプラノ演奏>

荒城の月

(瀧 廉太郎)

明治33年(1900年)に瀧廉太郎が作曲した曲ですが、ベルギーのシュトゥーニュ修道院にて、聖歌の旋律に用いられました。今日はその聖歌となった荒城の月をお届けします。

<4重奏:ソプラノ演奏>

おぼろ月夜

(岡野 貞一)

日本古来の音楽には3拍子の曲は殆どありませんでしたが、我が国に西洋音楽が入って以降こうした3拍子の曲も多く生まれるようになりました。作曲の岡野貞一は、中野市生まれです。

<8重奏:アルト演奏>

さくらさくら

(日本古謡)

第2部は、『ピアニストの兵隊さん』に登場する曲を集めてみましたが、春の歌の多いことに気づかされます。季節だけではない“春”を、誰もが待ちわびていた時代だったのでしょう。本日の最後を飾るべく、ジャズ風にアレンジしてみました。2mのリコーダーを演奏します。

<7重奏:コントラバス演奏>